

「10月号特集 国際緊急援助「その命を救いたい」を読んで」  
 ■地道に、ただ目の前の命を救いたい、困っていれば手助けをしたい。こういう方たちがいると頭では分かっている、実態として知ると、身に迫るものがあります。多くの方たちに、ぜひ知ってほしい特集でした。

(愛知県 / 女性 / 28歳)

「JICA Volunteer Story」の記事が良かったです。日本とソロモン諸島、どちらも地震が多いので、東日本震災を通じて防災への意識を伝えようとしている人がいる。多くの人々に伝える使命が日本にはあるのかなと思いました。

(神奈川県 / 男性 / 14歳)

「11月号特集「躍動の国インド」を読んで」

■インドのように貧困層と富裕層の差が大きな国は、国名を聞いても首都圏の生活を連想してしまい、援助を必要とする場面があるなんて思いもありませんでした。有意義な記事でした。

(北海道 / 女性 / 35歳)

■経済的に停滞している我が国ですが、諸外国、特に発展途上国には地道な援助をしているのです。人間関係などと同じように、国と国の関係も、困っているときにこそ、友好と援助のありがたさが分かるもの。まさに「情けは人のためならず」です。可能な限り、多くの国々、多くの人々を支援してください。

(北海道 / 男性 / 71歳)

「12月号特集 科学技術協力「世界を変えるイノベーション」を読んで」

■現在、海水中の炭酸ガス濃度が増え、海の環境も悪化していると言われています。空気、水、森林など、地球環境を守ることは、宗教、文化、政治、経済の違いを超え、世界共通の課題であるはずなのに、先進国、発展途上国の溝は埋まりません。日本が世界中のこんなに多くの国に科学技術の援助をしていることは知りませんでした。

(山形県 / 男性 / 80歳)

本誌へのご意見・ご感想や  
 JICAへのご質問を  
 お寄せください。

プレゼント  
 付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2013年3月15日

Eメール : jica@idj.co.jp  
 FAX : 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① フィリピンのメッセージカード
- ② 書籍『ソーシャルトラベル 旅ときどき社会貢献。』(p37参照)
- ③ 書籍『人道的交渉の現場から 国境なき医師団の葛藤と選択』(p37参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は  
 下記方法で  
 お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払ください。入金の確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)  
 住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル  
 TEL 03-3584-2191  
 FAX 03-3582-5745  
 Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2013年3月1日発行予定)

JICAボランティア

約半世紀にわたり、開発途上国の現場に入り、草の根レベルの活動を展開してきたJICAボランティア。「グローバル人材」の育成の場としても注目されているJICAボランティアの活動を紹介します。